

商品は「物語」が必要

「スターシップ」農商工連携セミナー



「NPO法人スターシップ農商工連携支援機構の農商工連携マッチングセミナー」写真

は18日、金沢市の金沢流通会館で開かれ、ぶどうの木(金沢市)の本昌康社長が「新商品の種のつくり方」と題して基調講演した。

本氏は、1個60円のタマゴを使った自社の「ふつうじゃないプリン」などを例に、売れる商品について「材料一つでも『物語』のある魅力付けが必要」と指摘。素材へのこだわりと、商品のネーミングが大事だと説いた。畠嘉伸同NPO理事長のあいさつに続き、農商工等連携事業計画の認定事例紹介、交流会などもあった。